



(出典)国土交通省道路局 警察庁交通局 安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン

図 優先的計画策定エリアを設定し、段階的に拡大する場合のイメージ

A. 自転車と自動車を構造物により分離する場合

緑石線等
歩道 自転車道 (自動車の)車道
着色あり 着色なし

B. 車道内で自転車と自動車の通行帯を分離する場合

歩道 自転車 他の通行帯 専用通行帯 車道
幅の全部を着色 幅の一部を着色

C. 車道混在とする場合

矢羽根型路面表示等を設置
歩道 車道
矢羽根型路面表示等で注意喚起
歩道のある道路 歩道のない道路

(出典)国土交通省道路局 警察庁交通局 安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン

図 自転車道・自転車専用通行帯・矢羽根型路面表示の整備イメージ

【施策展開イメージ】

- 地域の特性に応じた生活に関連する道路への進入防止対策を推進する。

<取組の例>

- ・ 交通規制と合わせたハンプ*15の設置
- ・ 道路狭窄*16の実施
- ・ ゾーン30プラス 等

【施策展開イメージの実施例】

	取組内容	実施機関	実施イメージ		
			短期	中期	長期
STEP1 安全対策を講ずべき必要箇所の情報収集	交通量調査や事故分析、アンケート調査等により、安全対策を講ずべき必要箇所の情報収集をする。	・道路管理所管課 ・交通安全所管課 ・警察	短期までに実施		
STEP2 交通規制策・進入防止策の検討・協議	安全対策を講ずべき必要箇所に対する交通規制策・進入防止策を検討し、警察等と協議を進める。	・道路管理所管課 ・警察	中期までに実施		
STEP3 交通規制策・進入防止策の実施	交通規制策・進入防止策の実施を図る。	・道路管理所管課	中期までに実施		

(□ : 施策の準備・検討 ■ : 施策の展開・実施 ▨ : 施策の継続・運用)

*15 ハンプ

車道の路面を盛り上げて(こぶ状にして)、通過する車両を物理的に減速させるための構造物のこと。

*16 道路狭窄

車両の速度を抑制するために、道路の幅の一部を狭くすること。